

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



『あめ ぼぼぼ』  
さく:ひがし なおこ  
え:きうち たつろう  
出版社:くもん出版

九州でもやっと梅雨入りしましたね。今年は梅雨前から、夏のような暑さが続き、草木や農作物が雨を待ちわびる日が続いていました。梅雨は梅雨で嫌ですがほどよい「恵みの雨」を期待します。

そこで今月は雨をテーマにした絵本『あめ ぼぼぼ』を紹介したいと思います。この絵本は、雨の日に男の子がママと散歩に出かけるお話です。絵本の中の雨は、一粒ひとつぶに顔が描かれていて、とても雨粒が可愛らしくみえます。

また、いろいろな雨の音が詩的にかかれています。

降り始めは「ひと ひと ぼとん」。外に出ると「てあ てあ てあ てあ」と風によって降ってくる雨の音。傘にあたる「ぼ ぼ ぼ ぼぼぼぼ」とい



う音は「あめの あしおと」と表現されています。その他砂場や水たまりに降る雨も描かれ、詩的な素敵な絵本となっています。

現在は車社会が進み、雨の日もできるだけぬれずに過ごせるようになりました。便利すぎる生活が、いつしか「自然を感じる」機会を奪っていることに気づかれます。あえて雨の日に、長靴をはき、レインコートを着て、傘をさして散歩にでかけてみると、雨の日ならではの発見があると思います。絵本をきっかけに雨の音に耳を傾け、感性をとぎすませてみてはいかがでしょうか。

## さく:ひがしなおこ ★ え:きうちたつろう 絵本紹介



作者の東直子さんは、歌人・小説家の方です。初めて書いた絵本が『あめ ぼぼぼ』です。

絵を描かれた木内達朗さんは、ニューヨーク・タイムズをはじめとして雑誌、書籍など幅広く活躍中の方です。

お二人ならではの素敵な絵本です。

